

連続企画「文学部ラボ：学問と社会の現在とこれからを考える」
第 10 回のお知らせ

人文社会系研究科・文学部所属の院生・学生の皆さん

「文学部ラボ」は、1 月 30 日に第 9 回を開催し、全体で 50 名ほどの参加がありました。

すでに予告しています通り、第 10 回は、3 月 27 日（土）18:00 から開催いたします。

今回は、これまでの文学部ラボに積極的に参加された特任研究員・院生の方々に、これまでの文学部ラボにおける議論を受けて、発表・討論をして頂いた上で、全体討論においては来年度以降の文学部ラボの運営についても考えたいと思っています。

現在のところ決定している発表者は以下の通りです。

三浦隼暉（哲学研究室博士課程）
谷川みらい（日本史学研究室博士課程）
前田一步（社会学研究室博士課程）
司会 笠松和也（次世代人文学開発センター特任研究員）

というわけで、今回は、言わば第一期文学部ラボの最終回ということになりますので、皆さまのご参加を強く望みます。

これまで参加された方は、今回特に申込みは必要ありません。前回までと同様の URL からアクセス下さい。まだ登録が済んでいない方は、以下に記した要領で参加の申し込みを行って下さい。

皆さんの積極的な参加を希望します。

企画の趣旨と実施要領

本研究科・日本文化研究専攻の加藤（野島）陽子教授を始めとする人文系・社会科学系の研究者 6 名が、日本学術会議より第 25 期会員候補者として推薦されていたところ、内閣総理大臣により任命されなかったという事態については、皆さんもよくご存知だと思います。

私たち、人文社会系研究科・文学部の教員は、この事態を大きな憂慮をもって受け止め、教員の総意のもとに、大西克也研究科長がメッセージを 10 月 6 日に出し、また、10 月 22 日には教授会もまた名を連ねました。

この間、教員の間で、この事態について様々な議論がありましたが、その議論の過程において、この問題に関する教員としての直接の対応とは別に、この問題が提起する様々な問題、すなわち、学問の自由、学問と社会のあり方、さらには言論の自由等の問題について、教員・院生・学生が人文学の立場からともに考え、学問的に議論する場を設けたいという声があがり、教員・院生・学生向けの連続企画「文学部ラボ：学問と社会の現在とこれからを考える」（以下、「文学部ラボ」）を人文社会系研究科・文学部として開講することが決まりました。

については、「文学部ラボ」への積極的な参加を院生・学生の皆さんに呼びかけるものです。

「文学部ラボ」は、履修登録・単位認定を行う正規の授業という位置づけではありませんが、人文社会系研究科・文学部として、人文学を中心とした学問の価値を語り継ぐことを目的としています。皆さんの積極的な参加を希望します。

実施要領：土曜日（18：00～20：00）に、Zoom を用いてオンラインで実施する。毎回、発表者一名か二人の話題提供・講義、その後、30 分程度の討議。

参加者：本研究科・本学部教職員・院生・学生。

参加申し込み：Google フォームでの事前申し込み制。以下の URL からアクセスして登録して下さい。登録するメールアドレスは、必ず東京大学のメールアドレス（u-tokyo.ac.jp を含む）にして下さい。追ってこのアドレスに Zoom のミーティング URL を送付します。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-gV5PaSB3uHvIDwAEvwV8eHYLKE-kv41LxGqfKD16g1qqug/viewform?usp=sf link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-gV5PaSB3uHvIDwAEvwV8eHYLKE-kv41LxGqfKD16g1qqug/viewform?usp=sf_link)

問い合わせ先
鈴木 泉（izumisz@mac.com）

教員を代表して
楯岡求美・出口剛司・鈴木 泉